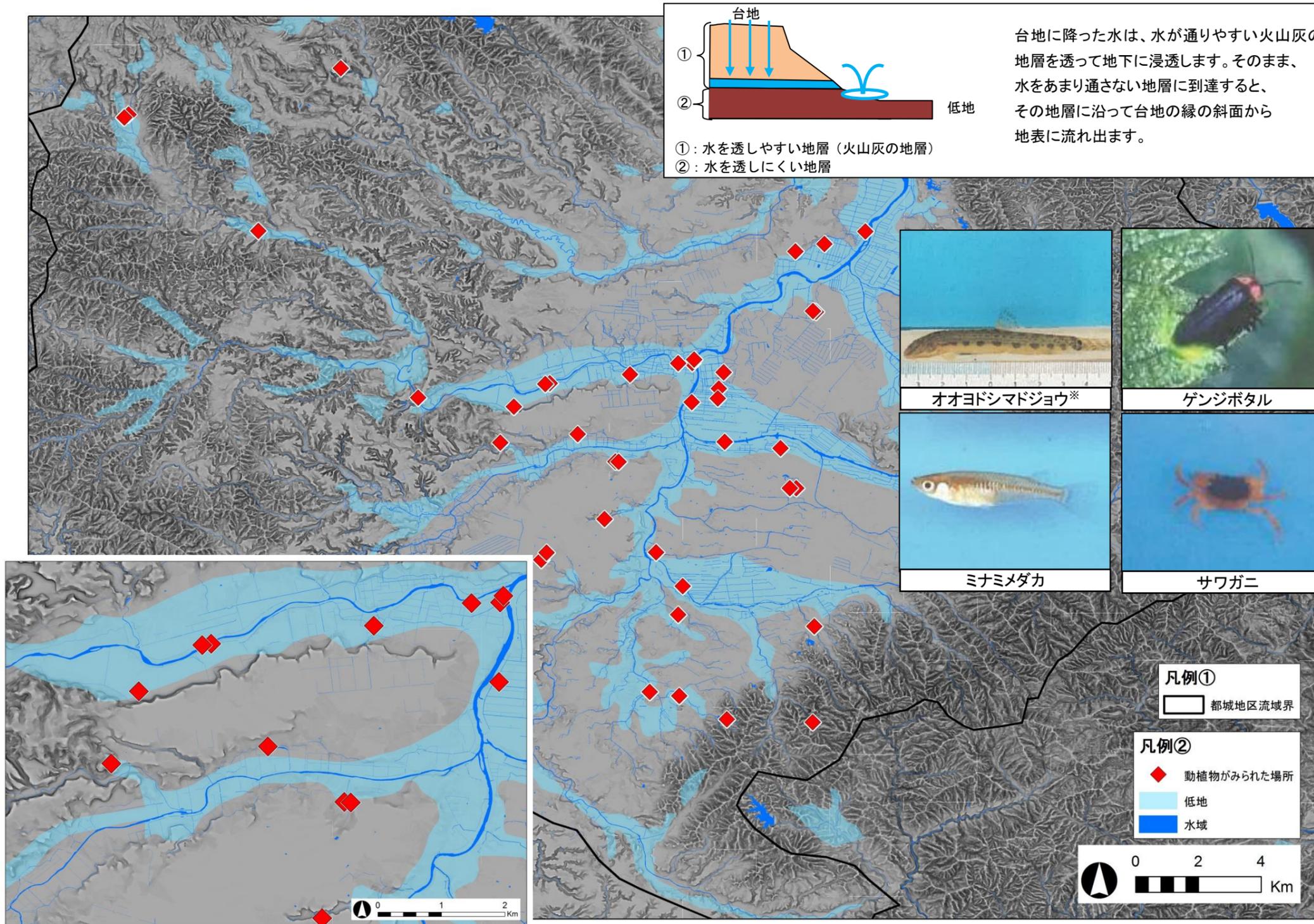


# 図④：大淀川水系中流域に見られる生き物

全国で珍しくなったホタルやサワガニ、メダカが湧き水にすみます。



台地に降った水は、水が通りやすい火山灰の地層を透って地下に浸透します。そのまま、水をあまり通さない地層に到達すると、その地層に沿って台地の縁の斜面から地表に流れ出ます。

- ①：水を透しやすい地層（火山灰の地層）
- ②：水を透しにくい地層

- ・生き物には綺麗な水を好むものがいれば、汚い水を好むものもいます。
- ・きれいで冷たい水を好む生き物にとって、湧き水がある場所はとても大切なすみ場所になります。
- ・湧き水は崖や台地の縁に多くみられます。
- ・旧都市では840種の生き物が確認されており、うち湧き水や湿地にすむ生き物は45種(約5%)です。
- ・湧き水や湿地にすむ生き物の分布を図示すると、低地の際(台地の縁)に多く分布していることがわかりました。
- ・低地の際(台地の縁)は湧き水で出来た水路や小河川、湿地が形成されやすく、そこに湧き水や湿地を好む生き物がすんでいるためと考えられます。
- ・このことから、湧き水は生き物のすみ場所を形成する重要な要素の一つと言えます。

凡例名	データ名/資料名	データ・資料入手先
生物確認位置	H16都市生物多様性基礎調査業務委託 動植物個別調査報告書	宮崎県都市環境森林部環境政策課より提供
地形	20万分の1土地分類基本調査 地形分類図	国土交通省国土政策局国土情報課
行政界	国土数値情報 行政区域データ	国土交通省国土政策局国土情報課
水域	基盤地図情報	国土地理院

※「H16 都市生物多様性基礎調査業務委託動植物個別調査報告書」では、「ヤマトシマドジョウ」と記載されているが、「宮崎県大淀川水系から得られた特異なシマドジョウ属」(2011、中島・中村・洲澤)により大淀川水系の同種は「オオヨドシマドジョウ」と分類されたため、ここでは「オオヨドシマドジョウ」として掲載した。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 28 情使、第 1268 号)」

△注意！ 必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも読図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。